



二穴城



通称本丸（主郭）から小口の瀬戸方面の眺望

所在地：石川県七尾市二穴

別 称：二穴の海崎

立 地：丘陵先端、標高30m

城 主：畠山氏、前田氏

時 期：戦国

見学時間（参考）：約50分

七尾南湾に突き出す2筋の尾根頂部に占地し、北側の尾根続きとは堀切で遮断している。丘陵の西側を城崎の入江、東側を大津守の入江と称し、中世には入江が内陸に深く入り込み海に浮かぶ海城の様相を呈していた。現在開拓が進み入江は水田や宅地になっている。



多賀神社

能登畠山氏の築城と鹿島郡誌は伝える。天正9年（1581）能登一国の領主となった織田方の前田利家は、家臣の高畠茂吉と宇野十兵衛を二穴城に配したと故墟考は記している。二穴城から小口の瀬戸、富山湾は直接見えないが、七尾南湾に出入りする船を監視する重要な拠点であったと考えられる。城跡の曲輪は高台の耕作に適した場所として後世利用されたが、東の尾根先端部には城郭防御施設が今も残っている。



二穴集落の港に案内板が建つ



社殿裏の登城口
通称二の丸に至る

最南端の曲輪が主郭で通称本丸と呼ばれる。尾根の間の入江を監視するため壘線土塁を設ける。入江は舟入となり、上陸して通称二の丸の櫓台直下の竪堀を上った（大手道）と推定される。主郭の舟入側に小規模な曲輪を3段下ると、殿様池と呼ばれる井戸跡が残っている。



大手を監視する二の丸の櫓台



殿様池（井戸跡）



本丸（主郭）

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>